

世界の人々の豊かな生活と 地球環境の未来のために 企業としての持続的成長を果たす



取締役社長 長谷川 聡

川崎重工グループは1878年造船業を開始して以来、車両、航空機事業と、陸・海・空の輸送システム/輸送用機器の分野において事業基盤を築くとともに、130年にわたり、産業インフラ、エネルギー環境、さらには二輪車などのレジャービークルといった分野においても、事業を伸展させて来ました。まさに「持続的成長」を遂げながら、今日に至っております。

企業が持続的に発展していくためには、たえざる「イノベーション」とともに、「経営の健全性」ならびに「社会への貢献」が欠かせない要素となっています。これらの要素のうち「経営の健全性」と「社会への貢献」については、当社グループではCSR推進本部の中にCSR部と地球環境部を設け、グループ全体で活動を展開しています。本報告書を通じ、具体的にどのような活動を行っているか、皆様に広くご理解いただきたいと考えています。

カワサキグループ・ミッションステートメント

当社グループは、21世紀において当社グループが果たすべき社会的使命や、ブランド価値向上のための共有すべき価値観、経営活動の原則、構成員一人ひとりの日々の行動に求められる指針を盛り込み、グループ全体の羅針盤として「カワサキグループ・ミッションステートメント」を2007年に制定しました。

カワサキグループ・ミッションステートメントは、次の4階層の構成としています。

グループミッション

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”

川崎重工グループは、広汎な領域における高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

カワサキバリュー

価値創造：グローバル規模での社会・顧客の価値創造をカワサキバリューとする

独自性：独自性・革新性・先進性をカワサキバリューとする

最高品質：世界最高レベルの機能・品質をカワサキバリューとする



ものづくりを基本に社会への貢献を果たす

当社グループは、その創業時点から「ものづくり」を通じて社会・国家の発展に寄与することを基本に据え、事業を行ってまいりました。事業分野は大きく拡大しましたが、その基本理念は、どの分野でも変わりません。

こうして受け継いだ基本理念を、経営に関する基本的考え方として当社グループでは「カワサキグループ・ミッションステートメント」(以下「ミッションステートメント」といいます)としてまとめました。その内容については、本ページ下段に詳しく説明していますが、グループ経営原則の1番目に「高度な総合技術力に基づく、高機能・高品質で安全な製品・サービスの提供を使命とし、社会と顧客から信頼される」と定めています。まさに「ものづくり」で社会に貢献しようという理念を前面に打ち出しているわけです。

「ものづくり」においては、お客様に満足いただける高品質のものを提供することは当然ですが、近年においては地球環境への配慮が欠かせないことはいうまでもありません。有害物質を使わない、排出しないということにとどまらず、省エネルギー効果の大きい製品を提供する

ことによって、地球温暖化の防止に寄与することは、当社グループのようなメーカーにとって大きな社会的責務であると考えています。

さいわい当社グループは、クリーンエネルギーや省エネルギー、その他環境関連製品で優れた技術を持っており、それらを活用した製品・サービスを数多く提供しています。そうした数々の製品については、これまでも詳しくご説明していますし、本報告書でもご紹介していますので、是非読んでいただきたいと思ひます。



グループ経営原則

- ① 高度な総合技術力に基づく、高機能・高品質で安全な製品・サービスの提供を使命とし、社会と顧客から信頼される。
- ② 事業展開のすべての局面において企業の社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
- ③ 誠実・活力・高度な組織力と労使の相互信頼を企業文化とし、グローバルに“人財”を育成・活用する。
- ④ “選択と集中”“質主量従”“リスクマネジメント”を指針とし、収益力と企業価値の持続的向上を図る。

グループ行動指針

- ① 長期的・多面的・グローバルな視点に立って思考し、行動する
- ② 革新を旨とし、高い目標を持って困難な課題に挑戦する
- ③ 夢と情熱を持ち、目標の実現に向け最善を尽くす
- ④ 高い倫理観と優れた人格を持ち、社会と人々から信頼される企業人となる
- ⑤ 自己練磨を怠らず、自ら考え行動する「自主独立のプロフェッショナル」となる
- ⑥ 誇りと喜びを共有する、「チームカワサキ」の良きメンバーとなる

詳しくは：川崎重工
「カワサキグループ・ミッションステートメント」
[http://www.khi.co.jp/
overview/mission.html](http://www.khi.co.jp/overview/mission.html)



世界の人々の豊かな生活に貢献するために

ミッションステートメントの最上位に「グループミッション(当社グループの社会に対する役割)」として「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」と定めています。

「豊かな生活」には、物質的豊かさもありますが、ここで強調しておきたいのは「豊かな生活」とは「心の面での豊かさ」をも意味するということです。「心の豊かさ」のために当社グループとしてできることは何か、真剣に考え、実行していかなければなりません。

グループ経営原則の2番目に「事業展開のすべての局面において企業の社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する」と定めているのは、「心の豊かさ」も意識したものです。

具体的な活動については、20ページ以下に記載しています。事業所の地域イベントへの協力参画や、新造船の命名・進水式への一般市民の方々のご招待などの恒例化した活動に加え、企業ミュージアム「カワサキワールド」を通じた地域社会への貢献、災害時の義援金の寄付などといったことが挙げられます。また本報告書で詳しく触れていますが、最近、森林資源の保全活動として「企業の森づくり」事業へ参加しています。2007年に高知県仁淀川町での活動を開始しましたが、兵庫県多可町においても5年間の森づくり活動をスタートさせました。

このような「心の豊かさ」につながる具体的な活動を今後も続けていきます。

地球環境の未来に貢献するために

当社グループの環境活動で最も大きなテーマは、温室効果ガス削減への取り組みです。発展途上国の一人あたりの一次エネルギー使用量が、技術的進歩なしに現在の先進国レベルに至る事態を想定しますと、地球環境負荷へ与える影響は計り知れないものになると危惧しています。子供や孫の時代に思いを致した環境改善活動を、企業として考えていかなければなりません。

当社グループは自主削減活動の強化に積極的に取り組むとともに、国内排出量取引制度にも参加し、温室効果ガス排出量削減目標の達成を目指しています。たとえば、一定規模以上の新設工場には太陽光発電設備を設置する、などといった具体的施策を実施中です。

事業規模の拡大もあり、排出量の削減は容易ではありませんが、当社グループの技術による国際的な排出量取引も活用するなど、これからも各種施策を実施していきます。



中期経営計画「Global K」

2006年度から2010年度を対象期間とする中期経営計画「Global K」は、川崎重工グループ全体および各事業領域の10年後のビジョンをまず策定し、そのビジョンに向かってグループが発展・成長するための前半期間に関する事業戦略をまとめたものです。



詳しくは：川崎重工「中期経営計画「Global K」

http://www.khi.co.jp/annual/japanese/pdf/presentation_0609.pdf

企業ビジョン

カワサキは、高度な技術力により、陸・海・空の輸送システムとエネルギー・環境分野を中心に、世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献するグローバル・リーディングカンパニーになります。



経営の健全性確保のために

当社グループが社会への貢献を果たすためには、「経営の健全性」が確保されていることが大前提です。

そのために、内部統制、コンプライアンスのシステム整備・強化を通じて経営の透明性を高めることが必要です。この取り組みについては、12ページ以下に詳細に説明していますが、まず企業倫理に関する社内規則を整備し、各種教育の実施、各組織でのコンプライアンス委員会の設置など、遵守すべき各種法令などの内容について周知徹底を図っています。社長直轄組織であるCSR推進本部CSR部のほかに各事業部門にもCSR担当部門を設け、コンプライアンスの徹底に組織的に取り組むとともに、常に情報開示と透明性を最優先する企業風土の確立に努めています。

さらに「経営の健全性」確保のためには、リスク管理が重要であり、重要プロジェクトのチェック・フォロー体

制の整備、その他事業毎の特性に応じたリスク対応策の整備を実施しています。現在グループ全体にわたるリスク評価を改めて行っており、その上で対応すべきリスクについて有効なチェック体制および対策が準備されているかを検証していくこととしています。

お客様、取引先の方々、地域社会、株主、投資家、従業員など多くのステークホルダーの方々にとって有用な存在であることが企業としての務めです。今後とも、世界経済が混迷する中にあっても、ミッションステートメントを羅針盤とし、「成長への投資」を進めながら、「世界の人の豊かな生活と地球環境の未来のために」、広く企業の社会的責任を意識した経営を行っていく所存ですので、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。



川崎重工業株式会社
取締役社長

長谷川 穂

基本目標・方針

(1)基本目標

『質主量従』『選択と集中』『新たな価値創造』を経営の基本とし、収益力の高いグローバル企業へと飛躍していきます。

(2)基本方針

- ① 高収益が期待できる重点事業、将来の収益を担う成長事業に経営資源を集中する。
- ② グローバルに事業展開を行い、中核事業分野においてグローバル・リーディングカンパニーを目指す。
- ③ 製品ライフサイクル全体にわたり、高機能・高品質の製品・サービスを提供することによって、景気変動に左右されない堅固な収益基盤を構築する。

重点施策

- | | | |
|-------------------|------------------------|----------------|
| (1) 技術力強化 | (2) マーケット志向の発想・行動様式の定着 | (3) グローバル展開の加速 |
| (4) 新製品・新事業の創出・育成 | (5) グループ経営力の強化 | (6) CSRの推進 |